

関西学院大学 研究成果報告

2024年 5月 31日

関西学院 院長殿

所属： 法学部
職名： 教授
氏名： 大東 和重

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input checked="" type="checkbox"/> 関西学院留学 長期（滞在国：中華人民共和国 香港特别行政区） <input type="checkbox"/> 関西学院留学 短期（滞在国： ） <input type="checkbox"/> 宣教師研究期間 <input type="checkbox"/> 関西学院外留学（滞在国： ）
研究課題	香港・日本文化交流史の研究
研究実施場所	中華人民共和国 香港特别行政区 香港教育大学 中国文学文化研究中心
研究期間	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日（12ヶ月）

◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

報告者は日中比較文学・台湾文学・中国語圏文学・比較文学比較文化を専門とし、これまで研究成果として、『文学の誕生——藤村から漱石へ』（講談社選書メチエ、2006年）『郁達夫と大正文学』（東京大学出版会、2012年）、『台南文学』（関西学院大学出版会、2015年）、『台南文学の地層を掘る』（同前、2019年）、『台湾の歴史と文化』（中公新書、2020年）などを公刊してきた。2021年度以降、中国人・台湾人日本留学生文学の研究を科研費等の補助を得て進めているが、同時に、香港・マカオ・シンガポール・マレーシアなどの中国語圏の文学についての研究も進めている。

2023年度の1年間、中華人民共和国香港特别行政区の新界・大埔に所在する、香港教育大学の文学及文化学系、及び中国文学文化研究中心に所属し、香港・日本文化交流史、及び香港文学について、以下の研究を進めた。

1. 資料収集：香港教育大学中国文学文化研究中心、同蒙民偉図書館、また香港8大学の図書館コンソーシアムを利用して香港大学や香港中文大学等の図書館、さらに香港中央図書館をはじめとする公立図書館にて、これらの機関が所蔵する、研究課題と関連した資料を調査し、収集することができた。また、書店等にて香港文学と関わる書籍を数多く購入した。

2. 資料分析：香港滞在中、収集した資料や購入した文学作品を分析し、研究報告や論文公開に向けて準備を進めた。

3. 研究交流：香港教育大学中国文学文化研究中心は香港文学・文化研究の拠点の一つである。ここに所属することで、香港文学研究を専門とする研究者と交流を深めることができた。

また、研究中心では2回、中国語にて講座を開いた。

・「解讀谷崎潤一郎《細雪》的世界」（「大埔與阪神間的文學」、香港教育大學中國文學文化研究中心、2023年5月22日）

・「日本人眼中的香港——從戰後出版的日文小說談起」（香港教育大學文學及文化學系／中國文學文化研究中心、2024年3月1日）

いずれの回にも香港や各地の研究者が来席したので、研究成果を共有し、意見を交換する機会とすることができた。

4. 学会報告：香港滞在中、香港で開催された国際学会において2回、中国語にて報告した。

・「「回憶錄」之味——我與《中國20世紀自傳回想錄解題集》編輯前後」（第3屆京港青年人文學者學術研討會、香港城市大學、2023年6月10日）

・「郁達夫與大正文學——從個人的研究點滴出發」（「文學與歷史的交匯」學術研討會、香港都會大學人文社會科學院田家炳中華文化中心、2023年10月24日）

いずれも香港のみならず、中国各地や米国から参加した研究者らが数多く参加しており、研究成果を共有し、意見を交換する機会とすることができた。

5. 研究書籍の翻訳：香港滞在中、香港文学研究の基礎を作った、小思（盧瑋鑾、元香港中文大学香港文学研究中心主任）のインタビュー形式の回想録、『曲水回眸』の翻訳を進めた。草稿を作成できたので、2025年度中にチェックを進め、2026年度中に刊行したいと考えている。

・『曲水回眸——小思訪談錄』上下（香港中文大學香港文學研究中心編著、牛津大學出版社／啓思出版社、2018年）の翻訳

6. 研究会でのシンポジウム開催：中国文芸研究会の2024年1月例会にて、シンポジウム「香港文学特集」のコーディネートをを行い、日本や香港、中国の計7名の香港文学研究者に、オンラインで口頭発表をしてもらった。この成果は同研究会の機関誌『野草』の増刊号として2024年度中に刊行予定で、報告者が編集に当たっている（ただし2025年度にずれ込む可能性あり）。

7. マカオ・シンガポールでの調査：香港滞在中、マカオ・シンガポールへも足を運ぶ機会を持ち、大学・公共図書館や関連する文化施設で資料の収集を行った。

以上の通り、2023年度の1年間、香港にて大変充実した研究活動を行うことができた。研究成果を今後公開していく予定である。

留学の機会を与えてくれた学院、関係機関、関係する教職員、また受け入れ先を提供してくれた、香港教育大学の文学及文化学系、中国文学文化研究中心、葉倬瑋総監をはじめとする関係の教職員の皆様に深い感謝を申し上げたい。

以上

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※関西学院留学は所属長を経て、宣教師研究期間の大学教員は学部長及び学長を経て院長に、高中部教員は各部長及び高中部長を経て院長に提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。